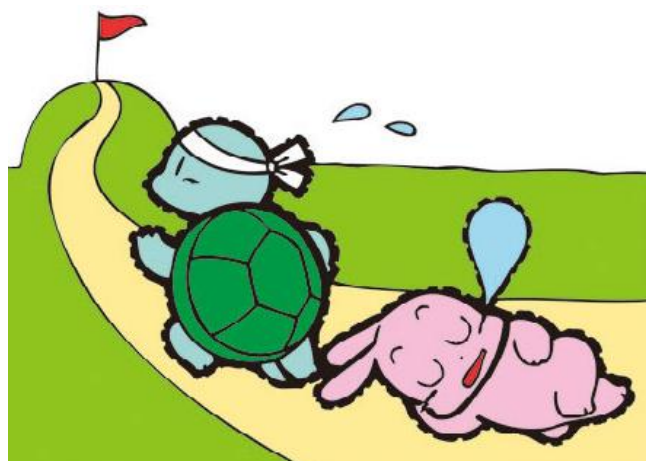




## ウサギは、なぜカメに負けたか？



1年生は、新入生テストで初めて知ったと思いますが、中学校では、各テストで学年順位が付きます。この順位は、あくまでも一つの目安です。この順位に意味があるのではなく、自分の努力の成果を数字にして客観的にみるための参考として示しているものです。

私は、入学試験以外のテストは、結果よりも過程の方が大切だと考えています。そのテストに向けて、どれくらい努力したのか。前回のテストより努力できたか。順位より大切なのは、自分が努力したかどうか、自分が満足、納得できるかどうかなのです。他の人と比べるよりも、前回、以前の自分自身と比べてください。

さて、イソップ寓話の中でも、トップクラスの知名度を持つ話が、「ウサギとカメ」ですが、文章の書き方などに関する数々の著書がある、上阪徹（うえさかとおる）さんについて、次のような話を読みました。とてもおもしろい話だったので、みなさんに紹介します。

上阪さんは、職業上、これまでに3000人を超える人たちにインタビュー経験があるそうです。ある年配の元経営者にインタビューしたとき、その相手からこんな質問を受けました。「上阪さん、どうしてウサギはカメに負けたか知っていますか？」

唐突な質問に少し戸惑いながら、上阪さんは答えます。「それはウサギが油断して寝てしまったから……、ですよ？」すると、元経営者は、次のような話をしたのだそうです。

「そんなふうにいわれていますが、実はそうではないんです。では、そもそも、どうしてウサギは寝てしまったと思いますか？ ウサギはね、見るべきところを間違えたんです。ウサギはゴール地点だけを見て走ればよかったのに、ゴールではなくカメを見てしまった。だから自分より遅いカメを見て、寝てしまったのです。それに対して、カメのほうはウサギを見ていなかった。眠っているウサギを見なかったから、歩みを止めなかった。つまりカメは、ゴールだけを見ていたから勝つことができたのです」

元経営者の話、なるほどです。大切なのは「競争相手に惑わされることなく、自分の目指すゴールだけを見て歩みを止めないこと」というわけですね。

人生においては、「他人と自分を比較することなく、自分は自分の道をしっかりと歩けばいい」ということでしょう。

また、「ゴールを見失うと、誰にも勝つことはできない」という教訓ともとれますね。周囲に惑わされずに、自分のゴールだけを見据えて、カメさんの歩みでもよいので前進し続ける。そういう人たちには勝利の女神が微笑（ほほえ）みかけることがあるのです。

大人になると、自分と他の人を比べることが、あまり意味をもたないことは分かってくるのですが、中学・高校生くらいの時期は、どうしても自分と他の人を比べてしまいます。「あの人に負けて悔しい。次は何としてもリベンジしたい」など、他の人と比べることにより、やる気やファイトが起こることもあります。ただ、「他の人や結果に惑わされることなく、自分の目指すゴールだけを見て、努力を続けていくこと」を常に忘れないでください。ウサギとカメほど走る才能や能力の差があっても、目標の持ち方や日々の努力、心がけ次第で逆転することは、実はよくあることなのです。そして、自分自身が満足、納得できるまで頑張ったという実感は、自分を幸せな気持ちにしてくれるとともに、「また頑張ろう」というエネルギーを与えてくれます。